

図書館へ



▲図書館
ホームページ

令和7年度の移動図書館車巡回日程は下表のとおりです。
※利用の際は、図書館利用者カードが必要です。
(カードは、巡回場所で作成の手続きができますので、マイナンバーカードや運転免許証、健康保険証など、本人確認ができるものをお持ちください。)

移動図書館車
が巡回します

巡回日/毎月1回
貸出期間/次の巡回日まで
貸出冊数/10冊まで



本土区域一般コース

巡回場所および予定時間 問合せ/中央図書館 ☎(22)3542			巡回日												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
午前	和光園	さとのもり保育園	永利馬場自治会館												
	9:30~9:45 ⇨	9:50~10:10 ⇨	10:20~10:40	17日	15日	19日	17日	21日	18日	16日	20日	18日	15日	19日	
午後	樋脇公民館	センノオト		第3木曜日											
	⇨ 11:40~11:55 ⇨	12:15~12:40													
午後	自衛隊官舎	勝目団地	九電平佐住宅	第3木曜日											
	14:20~14:40 ⇨	15:00~15:20 ⇨	15:40~16:00												

甌島区域巡回コース

地域	巡回場所および予定時間 問合せ/里分館(里教育駐在) ☎09969(3)2311、上甌分館(甌島教育課) ☎09969(2)0031 下甌分館(下甌教育駐在) ☎09969(7)0311、鹿島分館(鹿島教育駐在) ☎09969(4)2211			巡回日												
				4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
下甌・鹿島	海星中学校	かのこ幼稚園	敬老園バス停	薬師市営住宅	11日	9日	6日	4日	5日	3日	7日	5日	9日	6日		
	13:10~13:30 ⇨ 14:40~15:00 ⇨ 15:15~15:45 ⇨ 15:55~16:20				金曜日											
	手打小学校	西山地区コミュニティセンター			14日	12日	9日	7日	8日	6日	10日	8日	13日	9日		
	13:10~13:40 ⇨ 14:30~15:00				月曜日											
上甌	長浜小学校	鹿島公民館		15日	13日	10日	8日	9日	7日	11日	9日	14日	10日			
	12:50~13:20 ⇨ 14:30~16:00				火曜日											
里	中津小学校	甌島振興局		16日	14日	11日	9日	10日	8日	12日	10日	15日	12日			
	13:10~13:40 ⇨ 14:00~16:00				水曜日											
里	里中学校	里小学校	里公民館		17日	15日	12日	10日	11日	9日	13日	11日	16日	13日		
	12:55~13:10 ⇨ 13:15~13:45 ⇨ 14:00~15:30				木曜日											

※8月は巡回しません。

※悪天候やその他の事情により巡回日を変更または中止する場合があります。
※到着時間が多少遅れる場合があります。
※移動図書館車で借りた本は、次回の巡回日に返却するようになっておりますので、ご協力をお願いします。

鹿児島県青少年国際協力体験事業

世界へ飛び出せ!

スタディツアー in ベトナム

参加者募集



▲市ホームページ

問合せ先=本庁産業戦略課グローバルG(内線 5771)



鹿児島県青少年国際協力体験事業とは?
県内在住の中高生を開發途上国に派遣し、ホームステイや学校、施設などでの交流を通して、相互理解を深めることを目的としています。また、現地で開發途上国の国づくりに貢献している青年海外協力隊員の活動現場の視察や現地での協力活動を行い、国際協力に対する理解を深め、国際性豊かな人材の育成を目的としています。
派遣後には、活動報告会などを行うことで、学校や地元に戻元し、地域レベルでの国際化に寄与します。

鹿児島県青少年国際協力体験事業とは?

令和7年度開催
スタディツアー in ベトナム

時 7月19日(土)~26日(土)

内容
ホームステイや青年海外協力隊員、NGO(非政府組織)の活動現場視察、現地住民との交流、異文化理解に役立つ施設の見学など

対象 中高生
※保護者または生徒の住所が本市であること

定員 2人
※面接などを実施
料金 25万円程度
※市が半額程度助成
申込期限 4月11日(金)必着
申込方法

本庁5階産業戦略課または各支所、甌島振興局、各市民サービスセンターに備え付けの申込用紙に必要事項を明記の上、直接、送付

スタディツアー in
カンボジア体験記

令和6年度の県青少年国際協力体験事業は、カンボジアで行われ、本市からも2人が参加しました。
そこで今回は、そのスタディツアーに参加した2人にインタビューし、実際に体験したことなどを聞いてみました。

私のカンボジア体験記

宝物の1週間

つるとななみ
鶴本七望



「一緒にバドミントンしよう!」。カンボジアでのホームステイ4日目の出来事でした。現地の小学生に突然声を掛けられ、一緒に遊ぶことになりました。
その間、公用語であるクメール語で会話をしましたがあまり通じませんでした。しかし、言葉が通じなくても別れる頃にはすっかり仲良くなり、子どもたちが家族のような存在に感じました。
この体験を通して、以前より積極的にさまざまなことに恐れず挑戦するようになりました。カンボジアでの1週間は、私の宝物です。

将来のために

きはらあかね
木原綺音



将来、国際協力に関する仕事に就きたいという思いから、今回の事業に参加しました。現地に行くまでは、先進国が開發途上国を支援するという上から目線の見方をしていましたが、そうではなく、互いの国の生活習慣や価値観の違いを受け入れ、協力し合い、支え合う関係こそが本当の国際協力であることを学びました。また、電化製品が十分に無く、衛生状態も決して良い環境ではなかったけれど、カンボジアの文化や生活には日本にはない良さが多くありました。
このことを周りの人にも伝えながら、夢に向かって前進していきたいと思っています。